

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス りとる・まむ		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日 ～ 令和6年10月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和6年10月15日 ～ 令和6年10月25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの目線で支援室全体が見わたせ、活動しやすいフラットな広さが確保されています。それにより、職員も子どもの様子や状況が把握しやすくなっている。	・支援室には、物を置かない。（机・おもちゃ等、使用終了時にその都度、片づける）そのことにより、利用スペースを広く保ち、お互いの活動の妨げにならないようにし、安全に配慮している。また、床面は、スポンジ素材にし、転倒した時等、衝撃を押さえられるようにしている。	・環境・衛生に常に努め、「消毒・拭き掃除・掃除機掛け」を行っている。また、子どもの日常のルールとして、通常より、手洗い・うがいの習得に力を入れています。（季節によりウイルス感染などが、増えてきたときの為に備える。）
2	・来所すれば、宿題やデイの課題の取組みができるように習慣付けをしています。	・前向きに自ら進んで取り組むことができるよう、ねぎらいの声掛けを怠らない。	・無理せず、させすぎず、次に繋がるように長期で計画して取り組んでいる。
3	・協調性、集団行動がスムーズに行える支援をしている。	・音楽リトミックや集団でするゲーム、公園、イベント等で、皆で参加できる活動を行っている。	・飽きることがないように楽しく参加できるよう活動の数を増やし、変化を加えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流が、活発にできていない。	・交流等が、苦手な保護者様もいるので、適切な方法を模索している為、実行に及んでいない。	・直接の対話やお手紙により意向を伝えたり、各保護者様の意向に沿うように試みてみます。
2			
3			